

楓通信. 29

（の） わたしはだれ？ 冬です。はっはがない？！

① 日本産の針葉樹で
落葉するのはこの木だけ
新緑は春のはじめを
美しい黄葉は秋のおわりを
告げます。



② 木の皮を染料に使うところ
から名前がつきました。
この木の分布は湿原の乾燥化の
目安になります。山地の湿り気
のある所に生育



※ こたえはさいごのページです

③ 奥日光では湯え、千手、決に
とくに多く、川沿いなどに生育します。
北海道にも巨木が多く、アイヌの神話
ではこの木がセ神となり人間の子
生んだといわれています。



目次

2... 自然情報 3... マス・流星群・歩道情報 4... ニュース・交通情報ほか
5... 日光の催しほか etc. etc...

日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌 No.29

2000. 9. 26

年6回発行・一部50円

年間購読料 1000円

(6回分・送料込)

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、
郵便振替にて自然公園美化管理財団宛に購読料をお支払いくだ
さい。(年途中からでもどうぞ。) 振替 No. 00370-3-7232



環境庁

日光湯元ビジターセンター

NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

自然情報

夏の動物たち

オシドリ... 8月中旬 中禅寺湖を泳ぐ、家族連れのオシドリを見ました。冬鳥のはずなのに子供7羽、ということは、奥日光で繁殖したのかしら？かわいかった。

クロスズメバチ... 9/2 ビジターセンター前のハルニレにかけた巣が落っこちてしまいました。財団職員が無事撤去。

アオサギ...

9/4 千手ヶ浜に、いーっぱい!!!

クロサンショウウオ... 9/6 低公害バス・千手ヶ浜バス停裏の池に多数。平均4cm位。おなかは灰色。もっと大きいのはこの池から卒業したのかな。

オオルリボシヤンマ... 奥日光では今まで記録になかったトンボが数頭確認されました。大きく美しい色をしています。(p.10 トンボ展報告参照)

コエゾゼミ... 9/中 まだ鳴いています。

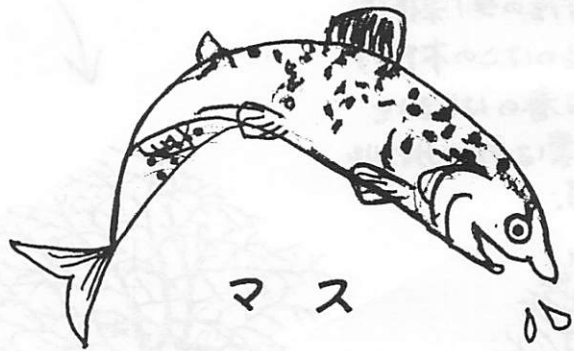
復活植物たち

しばらく目にしにくかった植物の目撃情報です。

小田代原でクガイソウ、

白根山山頂でトウヤクリンドウ、

また、8/上 青木橋付近でバイカモ、咲いていました。少しは湯川がきれいになったということでしょうか。



9月から12月にかけてマスが遡上する季節です。種類によって遡上時期・場所が異なります。下表を参考に観察してみてください。

種類	寿命	遡上時期	遡上場所
ヒメマス	3-4年 遡上後産卵して死亡	9/上-10/上	地獄川(菖蒲ヶ浜)、柳沢川、湯川、湯ノ湖
ホンマス	3-5年 遡上後産卵して死亡	9/上-12/上	地獄川(菖蒲ヶ浜)、柳沢、外山沢川、湯ノ湖
ブラウンマス	7-8年 産卵後も活動する	11/上-12/上	千手ヶ浜の清水(魚数少ない)
イワナ	7-8年 産卵後も活動する	11/上-11/下	外山沢川



雪



き

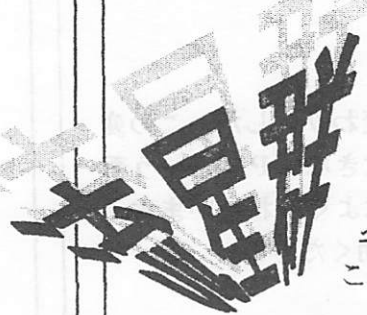
湯元や戦場ヶ原の初雪は、例年だと11月中旬です。積もるほどではありませんが、人も車も雪対策しましょう。

ちなみに本格的な積雪は、12月もしくは1月に入ってからことが多いです。今冬の雪はどうでしょうね。

冬鳥

10月頃から徐々に冬の水鳥たちが湯の湖にやってきます。マガモ、ヒドリガモ、オオバン、キンクロハジロ、ホシハジロ... 鳥の観察初心者の方も湯の湖一周しながらバードウォッチングとしゃれてみてはいかがでしょうか。





しし座流星群

11月15日—22日 極大日17日

極大日の最高の時(午後5時頃)に観察するのは難しそう。

でも暗くなってからでも見てみる価値あり、と真岡プラネタリウムからのコメントです。

ふたご座流星群

12月7日—18日 極大日14日

これも最高の時をねらうのは無理(午前9時)。夕方や夜は観られそうです。

このほか、1月にりゅう座流星群もくるそうです(1日—6日 極大日4日)。

歩道情報

— 白根山特集 —

奥日光で一番高く、新しい山、白根山。山が若いためか山頂付近は、険しく、崩れやすいです。

今回は6本の白根山登山道特集。

きのこ

地元の人によれば、マスタケの
めな年は、きのこは全部だめだ
か。今年は期待薄のようです。

①菅沼口 もっともポピュラーでしっかりした道。
2時間ほどで弥陀ヶ池、さらに1時間で奥白根山頂です。

②金精口 前号でお伝えしたとおり、トンネル脇の駐車場から峠まではかなりのガラガラ道。しかし古くからの菅沼から峠へ登る道は、登り口はササがかぶり倒木が多く少々難有りですがその後はしっかりしています。峠より五色山を経て奥白根まで、3時間弱。

③湯元・中菅根口 湯元集落の北西、浄水場脇からのびる登山道です。深くえぐれている箇所、ササをかき分ける箇所あり。登りにはきつい道です。下りに使うと、ところどころで湯元や湯の湖を望むことができます。

④湯元・白根沢新道 最近の地図で白根沢口といえはこのこと。白根沢右岸の尾根筋(かろうじて尾根と呼べるか?)をたどります。雨が降ればつるつる、ぐしょぐしょ、評判は芳しくありません。でも冬はこちらを使いましょう。前白根山まで3時間。

⑤湯元・白根沢旧道 昔の白根沢口です。沢を少し上って左岸にわたり、そこから急登の連続で天狗平下の稜線に至ります。冬は雪崩の危険が大きく使用不可。
指導標はわりあい
はっきりしています。

⑥丸沼口 昨年から夏期も
ゴンドラが運行されるよう
になりました。

ゴンドラ山頂駅からは
2—3時弱程で奥白根山に
登頂可能です。



ニュース

【湯元】楓通信26号でお伝えしたように、今夏湯元の駐車場配置が少し変わりました。この変化にあわせて、湯ノ湖岸に沿って走っている道が湖岸から離れる辺りに、大きな「P」という看板が立てられました。おかげで湯元の街では入り口付近の、新設の駐車場はよく使われています。が、奥の駐車場は閑散としていることがよくあります。どうぞ奥の方もご利用ください。

【湯滝】ビジターセンターの運営主体でもある(財)自然公園美化管理財団で管理している湯滝の駐車場に、身障者用駐車スペースが設けられました。滝にはもちろん、トイレにも近いところです。青くマークしてあります。一般の方の駐車はご遠慮ください。

【奥日光】公園班よりうれしい報告がありました。夏休み、人出が多い季節です。人出に比例して拾うゴミの量が増える、捨て方が雑になるのは定めかと覚悟していました。ところが今年は「今日はゴミを拾った! (主に量の問題)」 「今日のゴミはすごかった! (主に捨て方、ゴミの種類の問題)」と思う日があまりなかったそうです。湯元地区については前号でご紹介した湯元衛生協会の功績も大きい模様。もともと相変わらず、たばこの吸い殻は目立つとか。スモーカーのみなさんに携帯灰皿の存在をアピールしましょう。

【千手ヶ浜】7月から8月上旬にかけて、千手ヶ浜でクマの目撃情報が多数ありました。もともと彼らの棲む森に後から人間たちが入り込んだのですから当たり前のことなのかもしれません。しかし最近クマが人を怖がらなくなってきた為でもあるようです。

毎年人家に近づいてくるクマを1頭か2頭捕獲していましたが、今年は特に頭数が多かったようです。お問い合わせが多いので日光市農林課に確認したところ、今年は市全体で5頭のクマを捕獲していました。捕獲したクマは処分したとのこと。考えさせられます。

交通情報

中禅寺湖遊覧船

【問合先：中禅寺湖機船株式会社 (大尻) 0288-55-0360】

11/30までの運航ですが、菖蒲ヶ浜―千手ヶ浜間は8/20で終了。

丸沼高原ゴンドラ

【問合先：丸沼高原総合案内 0278-58-2211】

雪の様子をにらみつつ、12月中旬から毎日、冬時間(詳細未定)で運行します。

低公害バス

【問合先：日光自然博物館 0288-55-0880】

11/30で今年の運行を終了します。

道路閉鎖

金精道路は12/24頃の予定、山王林道

および志津林道(裏男体林道)は雪が積もり次第、閉鎖されます。



夏のお天気

7/下から8/上は、雷を伴う夕立が続きました。早ければ午前中に降り始める日もありました。8月20日頃、朝の風が変わったと思ったその日から、天気のパターンが変わりました。



日光（ヒジターセンター以外）の催し

彩りの日光と秋の味覚

11/5(日)

於：日光市内・小倉山

【日光自然博物館

0288-55-0880】

※切 10/24

しし座流星群を見よう

11/17(水)

於：三本松

【中宮祠中学校・佐藤

一成 0288-55-0079】

*p.3 参照

マスの探鳥体験!

11/25(土)

於：水産庁養殖研究所

【日光自然博物館

0288-55-0880】

※切 11/13

子供強飯式

11/25(土)

於：生岡神社

【日光市観光商工課

0288-53-3795】

第一回日光ツデーウォーク

12/2(土)

世界遺産コース

【日光ツデーウォーク実行委員会 0288-53-3795】

12/3(日)

大谷川コース

問い合わせは月-金、9:00-17:00

年越・初詣

12/31(日) - 2001/1/1(月)

於：日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社

外山毘沙門天縁日

2001/1/3(水)

於：輪王寺／外山毘沙門天堂

武射祭

2001/1/4(木)

於：日光二荒山神社中宮祠

律院越年祭

2001/1/14(日)

於：興雲律院

【興雲律院 0288-54-0260】

節分会追難式(せつぶんえ・ついなしき)【立木観音 0288-55-0013】

2001/1/25(木)

於：温泉寺

足跡ウォッチング

【日光自然博物館

0288-55-0880】

①1/14(日)

いずれも

※切 1/2

②1/21(日)

於：光徳周辺の森

※切 1/9

③1/28(日)

定員 30 名

※切 1/16

雪の森で遊ぼう!

【日光自然博物館

0288-55-0880】

①1/17(水)

いずれも

※切 1/5

②1/24(水)

於中宮祠小中学校裏山

※切 1/12

③1/31(水)

定員 20 名

※切 1/19



スキー場情報

積雪量にもよりますので お出かけ前にご確認ください。

開設期間(予定)

問い合わせ先

丸沼高原

10/28-5/7

【丸沼高原総合案内 0278-58-2211】

日光湯元

12/16-4/8

【日光湯元ロッヂ 0288-62-2532】

光徳クロカン

12/下-可能な限り

【日光アストリアホテル 0288-55-0585】

菖蒲ヶ浜

12/23-3/25

【日光プリンスホテル 0288-55-1111】

霧降高原

12/23-3/中

【霧降高原スキー場 0288-53-0525】

日光湯元ビジターセンター

2000年11・12月の催し

シカの臨ウォッチング

奥日光の主要な住人たち、シカ。専門家と一緒に、シカの気持ちになって、彼らの森を歩いてみよう！

日にち 11/3 (金・祝)
 時間 11:00-16:30
 場所 西ノ湖・千手ヶ浜方面
 講師 本間 和敬先生
 集合 赤沼駐車場
 参加費 1500円
 定員 15名
 その他 要予約 小雨決行

わらぞうりづくり

素足にわらの感触を！
 ご自分の手で作ってみませんか？

日にち 11/11 (土)
 時間 13:30-16:00
 場所 日光湯元ビジターセンター
 参加費 300円
 定員 10名
 その他 要予約ですが空きがあれば当日申込もできます。

早朝湯元散策

きりりとした冷気を吸って一日をはじめてみませんか？スタッフが湯元地区内をご案内します。

日にち 11/5 (日)
 時間 6:30-7:30
 場所 湯元温泉周辺
 集合 日光湯元ビジターセンター
 参加費 無料 雨天時 雨天中止
 その他 予約は必要ありません。

クリーンハイキング 憾満ガ淵

知られざる裏道を歩きます。
 ひっそり佇む史跡、大谷川の清流。
 新しい発見がきっとあるはず…。

日にち 11/12 (日)
 時間 9:30-15:30
 場所 憾満ガ淵
 集合 日光市福祉保健センター
 参加費 無料
 定員 30名
 その他 要予約、小雨決行

スライド&トーク

日光のスライドを背景に、スタッフが個性豊かに動植物や歴史のお話をします。

日にち 11/4 (土)、11/18 (土)、
 11/25 (土)
 時間 ①16:00-16:30
 ②16:45-17:15
 場所 日光湯元ビジターセンター内
 レクチャールーム
 入場料 無料
 その他 予約は必要ありません。

11

日	月	火	水	木	金	土
			1 休館日	2	3 シカの森	4 スライド
5 早朝散策	6	7	8 休館日	9	10	11 わらぞうり
12 クリーンハイク	13	14	15 休館日	16	17	18 スライド
19	20	21	22 休館日	23	24	25 スライド
26	27	28	29 休館日	30		

12

日	月	火	水	木	金	土
					1 休館日	2
3	4 休館日	5 休館日	6 休館日	7 休館日	8 休館日	9
10	11 休館日	12 休館日	13 休館日	14 休館日	15 休館日	16
17	18 休館日	19 休館日	20 休館日	21 休館日	22 休館日	23
24/31	25 休館日	26 休館日	27 休館日	28 休館日	29 休館日	30

開館時間

11月 水曜休館
 (平日・休日) 9:00-16:30
 (土曜・休前日) 9:00-17:30

12月 月曜-金曜休館
 (土・日のみ) 9:30-16:30

冬季の開館期間変わりました。

---12月、1月は週末に開館します。---

1月 9:30-16:30
 1-3日および土・日・祝開館
 2,3月 9:30-16:30
 水曜休館 但し祝日は開館

環境庁 日光湯元ビジターセンター
 NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元
 TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

シカの森ウォッチング

シカの食害が目立つ奥日光。シカ対策として設置された小田代原の電気柵、木に巻かれている黒いネットなど、みなさんご存じのことと思います。そのシカの棲む森を、彼らの気持ちになって歩いてみませんか？日光のシカの専門家、本間先生をお呼びしています。



主 備 (財) 自然公園美化管理財団・日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成12年11月3日(金・祝) 11:00-16:30

集 合 赤沼駐車場(低公害バス乗り場)

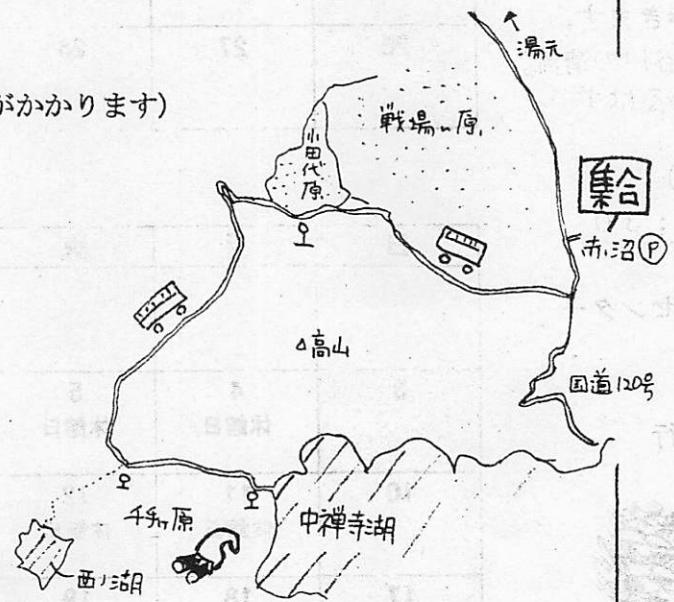
講 師 本間和敬氏(ほ乳類学会会員、野生生物保護学会会員)

募集人数 15名(申し込み順)

参加費 1500円 (ほかに低公害バス代900円がかかります)

日 程

- 10:45 受付開始
- 11:00 開会
- 11:20 赤沼車庫バス停発
↓ (低公害バス)
- 11:32 小田代原バス停 下車
昼食、本間先生のお話
- 12:32 小田代原バス停発
↓ (低公害バス)
- 12:42 西ノ湖入り口バス停 下車
観察 (千手ヶ原・西ノ湖周辺)
- 15:42 西ノ湖入り口バス停発
↓ (低公害バス)
- 16:10 赤沼車庫バス停 下車
- 16:30 閉会の後、解散



申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をビジターセンターまでご連絡ください。

①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)

⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか

◆グループの場合はまとめてお申し込みください。

◆予約のキャンセルをされる場合はお早めにご連絡ください。

持ち物 昼食、飲み物、おやつ、雨具、防寒具(セーター、防寒用帽子、手袋必携)、敷物履きなれていれば長靴がおすすめです。双眼鏡をお持ちの方はご持参ください。

その他

- ◆小雨決行とします。不明の場合は、当日朝7:30以降にビジターセンターまでお問い合わせください。
- ◆当日の状況により、スケジュール、コースを一部変更する場合がございます。
- ◆キャンセルされる場合は3日前(10月30日)までにご連絡ください。2日前(11月1日)以降のキャンセルは、キャンセル料(参加費の半額)をいただきます。
- ◆当日は道路の混雑が予想されます。十分な時間の余裕をみておいでください。



環境庁 日光湯元ビジターセンター

NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

あなたも一日ボランティア

日光クリーンハイキング

憾満ガ淵

今世紀最後のクリーンハイキングは、日光の知られざる裏道を歩きます。

ひっそりと佇む史跡、大谷川の清流。ゴミを拾いながら歩けばきっと新しい発見があるはず…。

紅葉もまだまだ美しくご覧いただけたと思います。

主催 (財) 自然公園美化管理財団・日光パークボランティア活動運営協議会

日時 平成12年11月12日(日) 9:30~15:30

集合場所 日光市福祉保健センター
(東武バス市内線・奥日光線 花石町バス停前)

参加費 無料

募集人数 30名(申し込み順)

スケジュール

9:30 受付開始
9:45 集合 開会
10:00 ハイキング出発
大日堂跡ポケットパーク

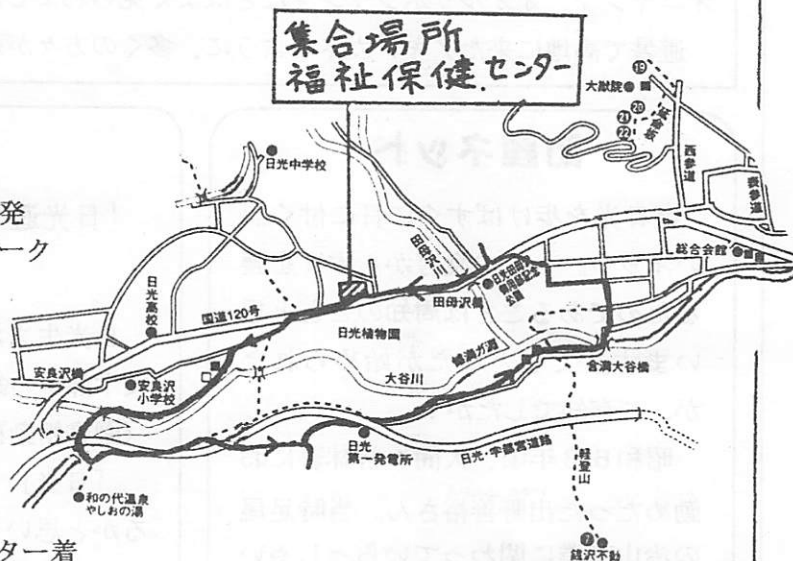
↓
憾満ガ淵

↓
昼食

↓
釈迦堂

↓
15:00 福祉保健センター着

15:30 閉会 解散



持ち物

昼食、飲み物、おやつ、雨具、防寒具(かなり冷えます)、敷物
(火ばさみ、ゴミ袋など清掃に必要な道具はこちらで用意します。)

申込方法

参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をビジターセンターまでご連絡ください。

①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)

⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか

◆グループの場合はまとめてお申し込みください。

◆予約のキャンセルをされる場合はお早めにご連絡ください。

その他

◆小雨決行とします。不明の場合は、当日朝6:30以降にビジターセンターまでお問い合わせください。

◆当日の状況により、スケジュール、コースを一部変更する場合がございます。



環境庁

日光湯元ビジターセンター

NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元

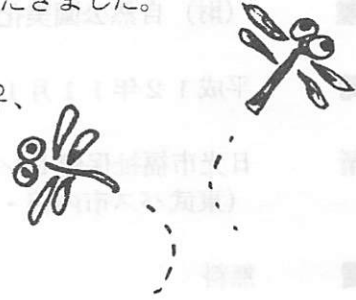
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

奥日光のトンボ展 報告

7/28-8/31, 展示室の一角を利用する形式としては初めての企画展を開催しました。「奥日光のトンボ展」です。日光パークボランティアでもある秋元 孝雄氏の多大なる協力のおかげで実現しました。

大田原市ふれあいの丘・自然観察館名誉顧問の増淵余一氏からお借りしたトンボの標本を展示したり、トンボの折り紙コーナー、塗り絵コーナーを設けたりしました。当館特製のトンボクイズには290人もの方々が挑戦し、みなさん“トンボ博士”になっていただきました。

また、前出の秋元トンボ大博士によるトンボの自然観察会も5回ほど催され、アジイトトンボ♂（珍しい）、ミヤマサナエ♀、タビドサナエ♀、ヨツボシトンボ、ルリボシトンボなど観察することができました。アキアカネ、ハラビロトンボ、オオシオカラトンボ、マユタテアカネ、ノシメトンボ、オニヤンマ、オオルリボシヤンマなどはよく見られました。



避暑で高地に来たアキアカネのように、多くの方々が避暑に訪れた夏の湯元の催しでした。(の)

防塵ネット

奥日光を歩けばすぐに目に付く黒いネット。シカの食害から木々を守るためであることは周知のことと思います。でもどなたが始められたか、ご存知でしたか？

昭和63年頃、大間々営林署にお勤めだった出野善裕^{いでの よしひろ}さん。当時足尾の治山事業に関わっていらっしゃいました。足尾の亜硫酸ガスにやられた荒廃地に^{いでの よしひろ}出野さんの先輩方が植えたオオシマザクラを、シカの被食から護るために思いつかれたそうです。

樹皮を完全に覆ってしまうものは、落ち葉がたまったりそこに虫がわいたり都合が悪い、金網は切断に不便であり、作業に危険が伴う、などなど考慮し、土木資材のカタログで見た黒いプラスチック製のネットを試したところ、効果有り。平成5年頃から宇都宮森林管理センターを通じて奥日光にも導入されました。

一冊の本

「日光避暑地物語」 1996年 福田 和美 著
平凡社 ￥1630円（税込）

日光生まれであればこそ、図書館勤務を味方にし、文学部卒の釣りキチが、埋もれた歴史を釣りあげた？！
(図書館勤務は当時)

「日光」といえば国立公園や東照宮などが連想されるかと思いますが、明治から昭和に至る避暑地としての側面に光を当てたのが本書です。著者は今年7月に『日光鱒釣紳士物語』（1999年12月 山と溪谷社 ￥1800）で下野文学大賞を受賞されました。

「森のギャラリー」出展作品を募集します。

本年4月から美化センターの休憩室壁面を、「森のギャラリー」として一般に開放しています。これまで4組の使用がありました。みなさん、写真を展示してくださいました。

作品は、写真に限らず、奥日光の自然や人文をテーマにした絵画、スケッチなどでも結構です。展示期間など詳細はビジターセンターにお問い合わせください。ご使用は無料。みなさまの力作をお待ちしています。

NPV（日光パークボランティア）より

楓通信27号でもご紹介ありましたが、ビジターセンターの入り口や赤沼のトイレ前の東屋に「花の写真」が展示されていることをご存じですか？私たちNPVの開花調査チームが4月から10月まで毎週木曜日に歩いて調査し、見られる花の写真を貼り替えております。奥日光を散策するとき、是非、ご参考になさってください。なお、せっかく毎週歩いておりますので、2000年10月からは“パークボランティアと一緒に歩きませんか？”という趣旨で「ミニミニ観察会」と称する試みを始めました。下記をご参照の上よろしかったらご参加ください。来春も4月から行う予定です。

また、私的なホームページですが、<http://www3.justnet.ne.jp/~ssawa>「旬の奥日光情報」（毎週更新）もご覧ください。NPVやビジターセンターの行事も掲載しております。

記

ミニミニ観察会 10月の予定

5日（木）、12日（木）、19日（木）28日（土）10時から12時、参加費無料
参加申し込みは、前日18:00までに0284-91-0244（柳沢）まで。

コースなど詳細は申し込み時にお話いたします。

参加者
募集中

①霧降高原トレッキング 2000年10月9日（月）

参加費1000円

②ニコウキスグ補植ボランティア 2000年10月14日（土）

問い合わせ・申込先 【霧降高原リフト事業所 0288-53-0525】

奥日光の植物は
今！

イベント報告

親子で行く動物の森
探検隊

平成12年7月30日（日） 参加者17名
解説 宮地 信良

夏休みの真っ直中、戦場ヶ原と小田代原にわたる観察会でした。天候に恵まれ参加者のみなさんもやる気満々。花の名前など小さなことから、電気柵の内と外、電気柵の設置前と設置後の違いなど大きなことまで、比較したり、みんなで考えたり、植物だけでなく、今ある問題などを絡めて様々な角度から探ってみました。

同じ戦場ヶ原や小田代原を歩いても
これまでとまた違ったふうに

見たのではないで
しょうか。（し）

平成12年8月10日（木） 参加者9名
隊長 手塚 牧人氏

手塚隊長のもと、計13名の少数精鋭部隊は湯滝付近の森へと潜入。野生のカンを研ぎすまし、隊員たちは動物の目線で辺りをうかがう。あっ！シカの角発見！つづいてアナグマの足跡、キツネの糞！ベテラン隊員よりは、若手の活躍が目立った。

ビジターセンターに戻り、“お宝”を鑑定する。シカの角から年齢を推定したり、キツネの糞からその食物を査定したり... このキツネはネズミを食していた模様。

実際の動物たちには出会えなかったが、彼らの存在の証が感じられる一日であった。

（し）

高橋祐吉写真展 ひとことノートより

夏休み期間中、ビジターセンターのレクチャールームに高橋さんの風景や動物の写真18点を展示させていただきました。以下はみなさまが寄せてくださった感想の一部です。



- 7/ 2 写真以前の問題で「日光」のプロですね。(宇都宮市 男性)
 7/18 星を見に戦場ヶ原に来たくなりました。
 冬の日光もいいですね。
 7/21 不思議の国のアリスになったみたい。またきたいな。(小学生)
 8/ 2 すばらしい写真の数々に出会えてよかったです。
 特に気に入ったのは“宇宙への旅(男体山とヘールボップ彗星)”。星と男体山の姿に空間と時の広さを感じました。
 8/20 素晴らしい“自然との対話”というような写真、感動しました！
 一瞬をとらえる“目”がうらやましいです。

出展者の高橋さんも、みなさまからのご感想を大変喜んでくださいました。

宇都宮の日の出・日の入り

11/16 出 6:19
 入 16:31
 12/16 出 6:46
 入 16:26
 (理科年表より)

ありがとうございました！

前田節子様、根本伸也様、逸見久子様、田中利洲子様、江田様他、ゴミ袋；山形護様、森田匡子様、前田節子様、諏訪様、切手、写真など寄付していただきました。どうもありがとうございました。スーパーの袋(大きめのもの)ゴミ袋としていくらかでも使えます。余っていましたら、ご寄付ください。お願いします。

28号のおわびと訂正

- p.2 「シカ」の項3行目「9月から12月頃まで頃から」
 →「9月頃から12月頃まで」
 p.3 キャンプ場情報 千手ヶ浜キャンプ場の開設期間
 「7/初—10/末頃」→「7/20—8/20」

ご迷惑おかけしたことと思います。誠に申し訳ございませんでした。訂正してお詫びいたします。

表紙の答え

い カラマツ
 ろ ハルニレ
 は ズミ



気 象

*奥日光自然ハンドブック(1997年)より

	月	中宮祠	戦場ヶ原	湯元	男体山頂
平均気温 (℃)	11	4.8	2.5	3.1	-3.1
	12	-0.4	-2.5	-0.8	-12.7
降水量 (mm)	11	184.0	54.5	67.0	
	12	51.6	20.8	54.0	

次号は

12月中旬

発行予定です